

ジンリムカ 文化財だより

平取町立二風谷アイヌ文化博物館・沙流川歴史館

2021. 1. 29

No. 9



二風谷コタンの初雪

大寒^{だいかん}に入り、日ごと寒さが厳しくなる季節となりました。冷たく澄み渡る空気のなか、二風谷コタンを歩いてみると、職人たちの手によって建てられた静かなチセ^{たたず}の佇まい、眠っているよう^{きた}で来るべき春に向け準備をしながら冬の寒さに耐え生きる冬木立^{ふゆこたち}の光景があります。二風谷コタンで触れられるものや自然が作り出す風景には、その時代の面影をうかがい知れる楽しみがあります。

博物館でも昨年度よりアイヌ政策推進交付金事業として、所蔵資料の写真撮影業務を行っていますが、その資料を一つひとつ確認していると、寒さの中でも力強く生きる先人たちの知恵や工夫を感じることができます。整備事業を経て新しく生まれ変わった「二風谷コタン」が、先人と今の人をつなぐ心地よい場所となるよう、これからも引き続き博物館・歴史館は歴史と文化に関する資料の保存、展示の改善に努めます。皆さんも、かつての暮らしに思いを馳^はせてみてはいかがでしょうか。

依然として新型コロナウイルスの影響が拡大し続けておりますが、この状況が1日でも早く終息へ向かいますことを願うとともに、安心してご来館いただけますよう感染防止対策を徹底して行います。ご来館、お待ちしております。

(小林斉子) にぶたに湖結氷



アイヌ政策推進交付金事業

2019（令和元）年 5 月 24 日に施行された「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」（アイヌ施策推進法）の第 7 条「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本的な方針」（基本方針）に基づき、平取町では昨年に引き続き交付対象事業を実施しています。

そのうち、平取町教育委員会文化財課（町立二風谷アイヌ文化博物館）では、4 件の事業の交付決定を受けました。内容としては、①屋外にあるチセ等の展示施設改修事業、②二風谷アイヌ語教室運営業務委託、③博物館所蔵資料の高解像度写真撮影業務と台帳作成及び WEB ページ作成事業、④工芸家の指導によるアイヌ文化体験事業（木彫体験）です。

今回は、この 4 件の事業のうち、「屋外展示施設改修事業」と「アイヌ文化体験学習事業」を紹介します。

【2020（令和 2）年度 二風谷アイヌ文化博物館屋外展示施設改修事業】

二風谷アイヌ文化博物館周辺には、チセやチプ小屋などの屋外展示施設を複数展示しています。これらの施設群は、自然素材を原材料としていることから経年劣化しやすく、雨漏りなどの影響もあるため、部分修繕や建て替えが必要となります。

今年度は「狩小屋 2 棟」、「チプ小屋屋根」、「竪穴住居」、「男便所」、「女便所」の 5 つの施設を改修し、お客さまに安心・安全ななかで見学していただいています。



【2020（令和 2）年度 アイヌ文化体験学習事業（木彫体験）】

アイヌ文化に触れていただくことを目的に、8 月に「アイヌ文化体験学習事業」を開催し、お客さまにアイヌ文様を彫刻した木製コースター作成体験をしていただきました。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、1 回の体験人数制限を設け、指導する工芸家とお客さま双方に感染防止を講じての実施のため、体験希望のお客さま全てに対応できなかったことが残念でした。

体験できたお客さまには大変喜んでいただき、家族や友人との夏の思い出の一つとなったのではないのでしょうか。

（杉山邦広）



沙流川歴史館大規模改修工事 ③

大詰めを迎えている沙流川歴史館大規模改修工事の進捗状況をお知らせします。

外構工事は、外壁のひび割れ箇所を補修するための樹脂が注入されました。また、色あせていた壁面も塗装作業が行われ、これで年内に予定されていた外構工事は完了しました。春の大型連休前後にはツツジの植え戻しや屋根上の芝吹き付け、展望ギャラリーの滑り止め床面シート張りが予定されています。

内部工事では、スロープの窓に遮光板が取り付けられ、外光が入らないようになりました。レクチャーホール内の工事は12月9日から始まり、現在は空調設備の取り外し作業が行われ、その後新しい設備に交換されます。あわせて音響機器も新しいものに更新されます。展示室の照明機器や空調設備などの更新工事も随時行われていきます。

そのため、すでに周知のとおり館内の改修工事にともない2020年12月30日から休館となっています。大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。（本田卓也）



外壁補修樹脂注入



アプローチ壁面塗装



塗装が完了した正面入口の壁面



館内スロープ遮光板取り付け



レクチャーホール機械室内既設機器取り外し作業



レクチャーホール機械室内既設機器撤去

重要文化的景観 — 重要な構成要素の紹介 9 —

オキクルミのチャシ（重要文化的景観G区域：三井沙流山林南区域に所在）

アイヌの文化神であるオキクルミの夫妻が住んだと伝えられるチャシ（居城）が、額平川河口域の左岸側から上流側に向かって続く丘陵の端にあります。

チャシが所在する丘陵一帯は、平取町を縦断する幹線道路から外れており、民家もありません。伝承地を含む周辺は切り立った山が連なっており、ほぼアイヌ口承文芸で受け継がれるオキクルミ伝承のイメージを損なわない状態が維持されています。

かつてこの場所は、オキクルミカムイの聖地として崇められ、人が近づいてはいけなかったと言われていました。荷負本村や貫気別など近隣の住民が付近を通るときは、頭につけている被り物などを取りはずし、わざわざ裏道を歩かされるほど遠慮しながら通行したと伝えられています。チャシとその周辺には、オキクルミにまつわるウパシクマ（言い伝え）や、カムイユカラ（神謡）が語りつがれ、岩山と崖面の形象、森林植生などが良い状態で残されています。

地域の暮らしや世界観を正しく学ぶための好条件がそろった、北海道の中でも一級の価値をもつ平取町内のアイヌ伝承地をぜひご覧ください。（長田佳宏）



写真中央部の尖塔状になった岩山が「オキクルミのチャシ」で、付近にはムイノカ（箕の形象）も所在する。

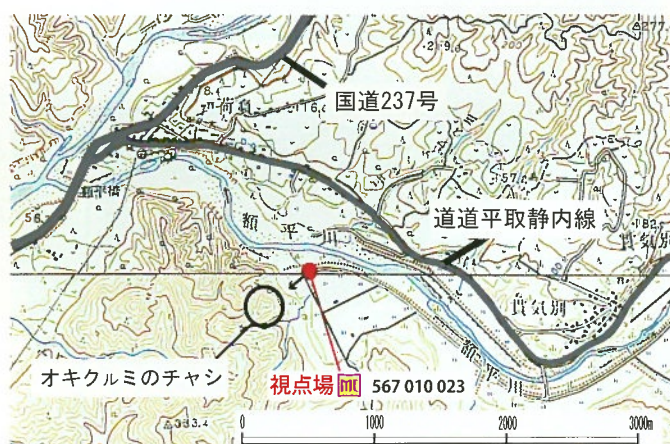
「オキクルミのチャシ」にかかる伝承のWeb閲覧

- ①二風谷アイヌ文化博物館ホームページ
- ②重要文化的景観紹介
- ③「北海道平取町文化的景観解説シート（ZIP）」を開く
- ④「E区域」→「61 オキクルミ伝承にみる植物利用」
→「資料3 シケレペコタンのウパシクマ」

カムイユカラ「オキクルミ トウレシヒ」について

・『萱野茂のアイヌ神話集成』第1巻 カムイユカラ編Ⅰに収録（二風谷アイヌ文化博物館常設展示室でも視聴可能）

地域に残される様々な情報（伝承やアイヌ語音声資料）が、北海道特有の重要文化的景観の価値づけへとつながっていく。



伝承地は三井物産の社有林内に所在しており、平取町と連携しながら重要文化的景観の保全を推進している。

アイヌ語を覚えてみよう ⑨

イランカラプテ！（こんにちは！）

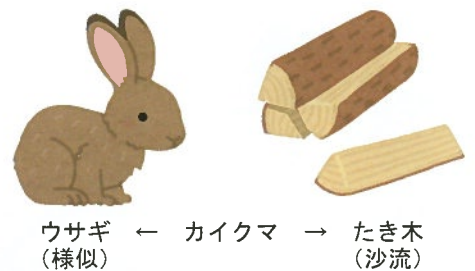
今回は、アイヌ語の方言差についてご紹介します。

平取町のアイヌ語は沙流川筋で話される言葉、ということで“沙流方言”と呼ばれます。この方言のデータが一番多く、研究も一番されており、最も学習しやすいアイヌ語となっています。しかし、実際にこの方言が使われるのは北海道の中でも沙流川に沿ったごく限られた地域だといえます。そして北海道以外にも、樺太方言、千島方言などがあります。方言は研究地に基づき多くのものに分類できますが、北海道では大きく、メナスン クル イタク（東の人の言葉）と、スムン クル イタク（西の人の言葉）の2つに分けられます。

この東西の分かれ目が、たとえば日高山脈、などなら分かりやすいのですが、なぜか新ひだか町（静内）辺りが分岐点となっています。ですから同じ日高地方でも、浦河や様似のアイヌ語は道東方言なので、沙流方言より、むしろ釧路方言などに近いのです。新ひだか町ではこのメナスン クル イタクとスムン クル イタクが混在した形で現れます。

それでは、方言差のために起こったといわれる勘違いの逸話をご紹介します。

昔、様似から平取に嫁いできた嫁に向かって 姑 が「カイクマ コロ ワ エク（たき木を持って来てくれ）」と言いました。すると嫁は苦労して山からウサギを獲って来たそうです。これは、沙流方言で「カイクマ」は【たき木】なのに対し、様似方言では【ウサギ】のことを指すからです。



もう一つ、浦河の人が平取の人に対し親愛の情を込めて「イカタイ！（こんにちは！）」と言ったところ、平取の人が怒って喧嘩になったそうです。これは「イカタイ」という日高地方東部で使われるあいさつ言葉が平取にはなく、平取で【バカ】を意味する「エパタイ」と音が似ているので、いきなり「バカ！」と言われたと思ったのが原因だということです。



このように方言差によって生じる笑い話もあるのですが、アイヌ語の方言差は東京弁と大阪弁ほども大きくない、と言われます。現在は多くの人が、自分の先祖の住んでいた地域、自分が現在住んでいる地域のアイヌ語を学ぼう、という機運が高まっています。このように地方差を認めつつ、アイヌ語を話す人が増えればいいなと思います。

ヤクン パクノ ネ。スイ ウヌカラン ロー！（それではここまでです。またお会いしましょう！）

（生涯学習課 関根健司）

金田一京助 ～アイヌ語研究の第一人者～

きんだいち きょうすけ

金田一京助は、1882（明治 15）年 5 月 5 日、岩手県盛岡市四ツ家町で金田一久米之助・ヤス夫婦の長男として生まれました。

東京帝国大学（現東京大学）の言語学科に進学した京助は、^{うへだ かずとし}上田万年教授の「アイヌは日本にしか住んでいない。アイヌ語研究は世界に対する日本の学者の責任なのだ。」という言葉でアイヌ語研究を志します。のちにアイヌ語調査のため、北海道や樺太^{からふと}に行き、アイヌ民族に伝わる^{じょじし}叙事詩「ユーカラ」〔ママ〕を研究します。



文化勲章受章の金田一京助
1954（昭和29）年

1912（大正元）年 10 月に東京の上野公園で^{たくしよくはくらんかい}拓殖博覧会が開催され、ここで出会ったシウンコツ（現平取町紫雲古津）村の鍋沢コポアヌからユーカラの中でも長大な^{いたどりまる}「虎杖丸の曲」の存在と、それを語れる^{もうもく}盲目のユーカラ名人のワカルパを教えられます。京助が上田万年に相談すると、上田はポケットマネーで旅費を出してくれました。1913（大正 2）年 7 月、京助はワカルパを東京に呼び寄せ、3 ヶ月の滞在中に英雄のユーカラ 13 編と神々のユーカラ 14 編、大学ノート 10 冊にのぼる口述^{こうじゅつ}を筆録しましたが、ワカルパの故郷でチフスが発生し、村人から^{きとう}祈祷を頼まれたワカルパは帰郷。ワカルパは村人たち一人ひとりに祈祷を行ったあとチフスに倒れ、12 月 7 日に亡くなりました。

生前、ワカルパは「虎杖丸の曲」は途中までしか知らないで黒川ツナレを訪ねるとよいと言いついていました。そこで京助は、1923（大正 12）年、ヌッキベツ（現平取町貫気別）のユーカラ名人黒川ツナレを訪ねます。ツナレによってワカルパの「虎杖丸の曲」は途中ではなく完結していたことが判明しました。その後京助は、沙流川筋のアイヌの人達から資料を集め、多くの教えを^こ請いました。萱野茂氏（1926 ～ 2006）も京助の晩年のアイヌ語・アイヌ研究を助けた一人です。1932（昭和 7）年『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』により^{がくしん おんししょう}学士院恩賜賞を受賞します。言語学、国語学者であった京助は、多くの国語辞典や教科書の編集・監修をおこなっています。現在でも京助の監修した国語辞典は広く普及しているので、はじめて手にする国語辞典に金田一京助の名があることも珍しくありません。歌人の^{いしかわたくぼく}石川啄木とは盛岡高等小学校以来の友人で、啄木が亡くなるまで親交が続きました。1954（昭和 29）年に^{ぶんかくんしょう}文化勲章を受章。1971（昭和 46）年 11 月 14 日、89 歳で亡くなりました。

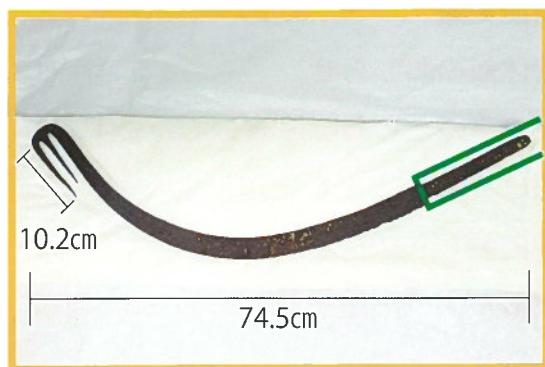
現在のアイヌ語研究の基礎を築き、ユカラを世界的に有名にした功績はとても大きなものです。（佐々木知代）



写真・引用参考『金田一京助-私の歩いて来た道』より

開拓財産 ～むかしのどうぐ～

その9：民具の調査
【番外編 2】



今回は「ウナギ搔き^か」という道具をご紹介します。
今回は小学5年生から中学2年生（1952～1955年）
ころまでウナギ搔きを使っていたY.Aさん（平取
町在住、1941年生まれ）にお話を聞きました。

（左側写真）町民のY.Kさんよりお借りしたウナギ搔き。□の部分に柄が付いていた。本来の全長は1.5m程度と思われる。

問）ウナギ搔きはどうやって使いましたか？

答）1～2月にウナギを捕りました。ウナギは4支線（注）
の湧水^{ゆうすい}のあるところの土に頭を突っ込んでいました。川が
凍っても湧水が出るところは凍らないため、バケツで水を
割り、うなぎ搔きで土を探ってウナギに引っかけます。し
っぽか頭に引っかかると暴れますが、真ん中にかかるとぶ
らんとなって（ぐったりとして）捕まえやすかったです。
手づかみをすることもありました。

（注）4支線とは…沙流幹線用水路から引かれた農業用水路。
平取町の紫雲古津を流れている。（右図）

問）捕れたウナギの種類は？

答）ヤツメウナギとニホンウナギが捕れました。
ヤツメウナギは魚のえさにしました。ニ
ホンウナギは沼田旅館（日高町富川 1 丁目 1
に所在。現在は閉館）に売りました。

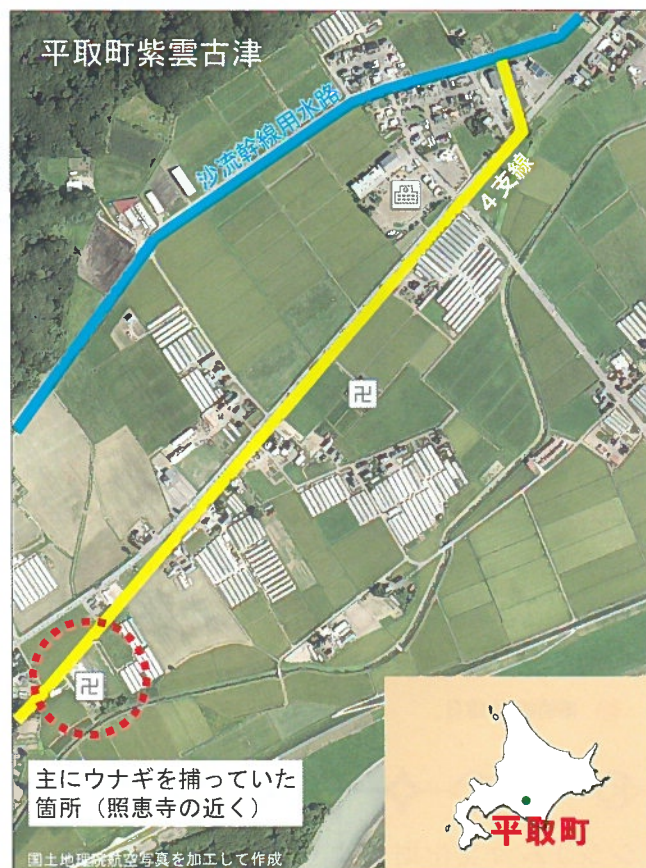
時代や環境の変化とともに平取町でウナギ搔きの使用は次第になくなっていき、その道具について知る人は現在ではわずかとなりました。

ウナギ搔きを貸して下さったY.Kさん、インタビューに応じて下さったY.Aさん、貴重な機会をありがとうございました。（廣岡絵美・小林斉子）

参考：平取町二風谷アイヌ語教室 1998『二風谷アイヌ語教室広報誌 第54号』「4支線（沢）でのウナギ捕り」



Y.Aさんによるウナギ搔きの実演。
土の中のうなぎを探る様子を再現。



開拓財産展示施設 見学のご案内



【開館日時】＊変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日（祝日休館）9:00～12:00

上記以外の日程のご見学についてはお問合せください。

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892

または

沙流川歴史館 ☎01457-2-4085

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■休館日のお知らせ

4月15日までの毎週月曜日は定期休館日になります。

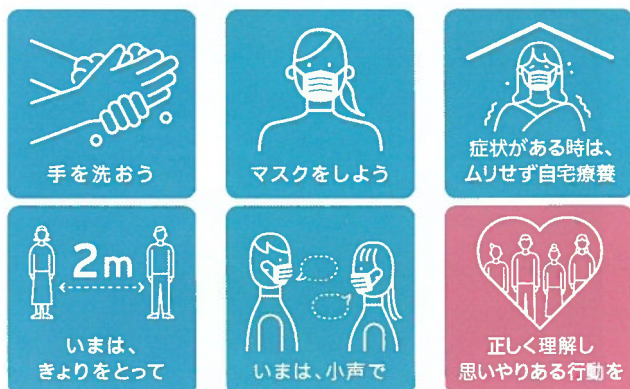
萱野茂 二風谷アイヌ資料館

■冬期休館（4月15日まで）

問合せ先：TEL 01457-2-3215

編集後記

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が止まりません。さらなる感染拡大防止のためにも、引き続き下の図（ピクトグラム）に書いてある内容の徹底をこころがけていきしょう。（本田卓也）



沙流川歴史館

■臨時休館のお知らせ

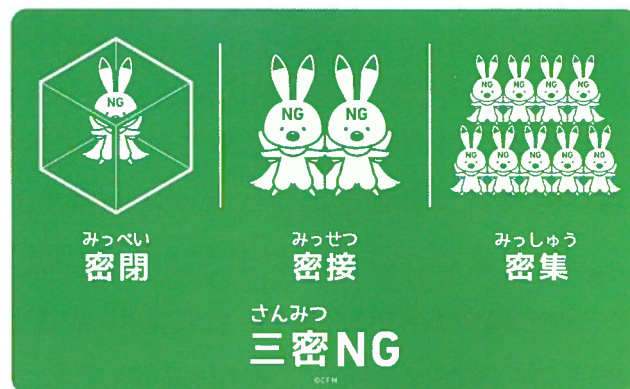
改修工事のため臨時休館しています。

期間は3月末までを予定していますが、再開日のお知らせなどは、次号のシシムカ文化財だより・歴史館Instagram・町HPでお知らせします。

■むかしの写真を探しています

今後の展示資料のために、平取町の古い写真（昭和時代）のほか、開拓資料に関する写真を探しています。

お貸しいただける写真がございましたら、沙流川歴史館までご連絡ください。デジタル化した後ご返却いたします。



2021年1月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	31	25	26	27	28	30

2021年2月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	1	2	3	4	5	6

2021年3月

日	月	火	水	木	金	土
28	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

2021年4月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

● 博物館 休館日

※1/29～ 歴史館は臨時休館しています

シシムカ文化財だより No.9

2021年1月29日発行

編集・発行／平取町教育委員会文化財課

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

北海道沙流郡平取町字二風谷 55

TEL 01457-2-2892

FAX 01457-2-2828

E-mail nah@town.biratori.lg.jp

HP <http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>

アイヌ文化博物館
Facebook 更新中！



沙流川歴史館

北海道沙流郡平取町字二風谷 227-2

TEL 01457-2-4085

FAX 01457-2-4086

E-mail sar.muse@town.biratori.lg.jp

沙流川歴史館
Instagram 更新中！

